

適正利用・エコツーリズム検討会議の進め方について（案）

1. 検討会議における主な意見

- ・エコツーリズム戦略による新たな提案制度は、メリットが少なく負担が過大であり改善が必要（過去の提案件数は計 9 件。令和元年度以降、新たな提案なし）
- ・2013 年策定のエコツーリズム戦略、及び事務取扱要領の全般的な見直しが必要（戦略には概ね 10 年ごとに見直すとの記載あり）
- ・設置要綱の改訂が必要（構成メンバーの役割等、必要な事項の追記修正）
- ・迅速な決定がなされるような組織体制を望む

2. 令和 4 年度第 2 回検討会議の結論

- ・過去の検討会議での協議結果や個別ヒアリングで得られた地域関係団体の意見を取りまとめ、以下について見直し検討を進める
 - ◇適正利用・エコツーリズム検討会議の設置要綱
 - ◇エコツーリズム戦略
 - ◇検討会議の運営のあり方

3. 令和 5 年度第 1 回検討会議における議事等予定

(1) 設置要綱の改訂について

【資料内容】

- ・構成メンバーの役割など必要事項を追記修正（運営の改善も図られるように記載事項を見直し）予定

【主な論点】

- ・必要な記載事項が網羅されているかをご確認
- ・運営の改善につながる内容となっているかをご確認

(2) エコツーリズム戦略の見直しについて

【資料内容】

- ・戦略見直しの必要性、記載すべき事項、見直しの検討方針について提示予定
- ※参考（現行戦略策定の背景）
 - ・IUCN からの勧告「遺産地域に関する統合的なエコツーリズム戦略を出来る限り早急に策定すること（IUCN 現地調査報告書、2008 年）」を踏まえ、2013 年に策定
 - ・ユネスコによる世界遺産条約履行のための作業指針に基づき、住民参加型の管理として提案制度を設定

【主な論点】

- ・戦略の必要性、見直しに際して記載すべき事項（基本方針など）
- ・遺産管理計画の見直し検討との整合性に関して留意すべき点がないか